

**令和 7 年度（2025 年度） 第 1 回
横須賀市国民健康保険運営協議会 会議録**

1 開催日時 令和 7 年（2025 年）8 月 22 日（金）
午後 1 時 30 分～午後 2 時 15 分

2 開催場所 301 会議室

3 出席者名

【委 員】 小野寺理、織田俊美、鈴木博美、
長島洋一、大澤章俊、半澤栄一、
君島富美江、川名理恵子、倉地正行、
田邊一三
(敬称略) *16 名中 10 名出席

【事務局】 夏目健康部長
外 11 名

【傍聴者】 1 名

4 会議内容

はじめに、横須賀市国民健康保険運営協議会規則第 4 条の規定に基づき、会長に川名委員を選任。会議録署名委員に小野寺委員及び田邊委員を指名し、会議次第に沿って議事に入った。

議題 1. 令和 6 年度特別会計国民健康保険費決算（案）について

資料により事務局（鷺阪課長）が説明した。

質疑応答等

(川名委員)

保険料の収納率ですが、令和 6 年度の収納率はどのくらいでしたか。また、収納率は上昇傾向なのでしょうか。

(事務局)

令和 6 年度の収納率は、92.38%でした。年度ごとに多少差がありますが、傾向としては、ここ数年は若干上昇している状況です。

(川名委員)

国庫補助金のシステム整備費補助金が予算に比して増額となっていると思いますが、システム構築の費用が上がった理由は为什么呢。

(事務局)

保険証とマイナ保険証との一体化に関するシステム改修の補助金ですが、当初の見込みより追加で改修する項目が増えましたので、増額となっております、その分の歳入が入ったということです。

※1

(川名委員)

これは歳出にも影響があったということでしょうか。

(事務局)

事務費の歳出決算見込額3億7,000万円強の中に含まれております。 ※2

(君島委員)

75歳以上の方、後期高齢者への移行というのは落ち着いたと考えてよいのでしょうか。

(事務局)

いわゆる団塊の世代の最後の年の方が令和6年度に75歳になりましたが、75歳になる方が極端に少なくなるわけではありません。令和6年度は5,500人くらいが後期高齢者医療制度へ移行しました。今年度も4,500人程度の移行が見込まれていますので、緩やかに減少していくといった状況です。

(君島委員)

75歳以下の方も一人当たりの医療費が増えているというのは、どういうことが原因でしょうか。

(事務局)

まず診療報酬の改定が2年に1度行われておりまして、全体として医療の高度化と人件費が上昇していることも踏まえ、診療報酬が上昇傾向にあることがベースにあります。がん治療などでも新薬が開発され、薬価もこれまでより高額なものが出てきているので、費用額自体が上昇しております。

また、コロナ渦において、一人当たり費用額は減少しましたが、コロナが明けてからは一人当たり費用額が伸びている傾向にあります。

(君島委員)

悪いことではないということでしょうか。

(事務局)

有病率が高く、病気になる方が増加していることが要因ですと喜ぶべきことではありませんし、費用額が上がることは保険料の上昇にも影響がありますので、できれば避けたいところではありますが、やむを得ない部分ではないかと考えております。

○その後、質疑なく議題1について了承された。

会議後確認事項

※1 歳入のシステム改修に係る国庫補助金については、当初予算の段階では交付方法が未定であったため、県補助金の保険給付費等交付金（特別交付金）に計上していました。そのため、国庫補助金の予算現額と決算見込額に差が生じたものです。

※2 追加改修に要した費用については、同一費目内の予算残を使用したため、歳出予算総額の増額はありませんでした。

議題2. 「横須賀市国民健康保険データヘルス計画」の進捗状況について

資料により事務局（杉本課長）が説明した。

質疑応答等

(川名委員)

資料4ページの特定健診未受診者への受診勧奨ですが、SMSによる勧奨というのは令和6年度に初めて行ったもののでしょうか。

(事務局)

前年度につきましては、入札不調で実施できませんでしたが、以前にも実施しておりました。

(川名委員)

SMSでの受診勧奨はどのように行っているのでしょうか。

(事務局)

健診を受診していただいたときに受診票に携帯の番号を記載していただいております、そちらを活用させていただき、携帯電話に受診を勧めるメッセージを送っております。

(川名委員)

資料5ページの受診勧奨件数が昨年度に比べ減っているようですが、こちらは対象者が減少しているということでしょうか。勧奨せずとも受診する方が増えたということではないということでしょうか。

(事務局)

事業のやり方を多少変更しておりますので、対象者を判断する母数が変わったということです。毎月、通知をしておりましたが、かなり事務の煩雑さがありまして、年に1回、対象者を抽出するというやり方にした結果、母数が減少いたしました。

(川名委員)

割合としては、あまり変わらないということでしょうか。

(事務局)

今年度はこのやり方で650人以上の送付となっておりますので、対象者がたまたま少なかった、基準値に満たない方が多かったということかと考えられます。

(君島委員)

75歳以下の方でもお仕事されている方多くいらっしゃると思いますが、仕事先、事業者からも受診勧奨する動きもあるのでしょうか。

(事務局)

事業者では、職員の健診をしなければならないことが決められておりますが、会社で受診された国民健康保険加入の方については、特定健診に代わるデータとして健診結果をお出しいただいて、使用しております。

(君島委員)

国民健康保険の加入者であっても、事業者側から受診を進めてくれているのでしょうか。

(事務局)

事業者は事業者の責務として健診受診をすすめています。また、国保保険者として、商工会議所には、健診の受診勧奨の啓発ポスターを掲示いただくよう依頼しております。

○その後、質疑なく議題2について了承された。

本日の全ての議事は終了したことを議長が宣言し、閉会した。